

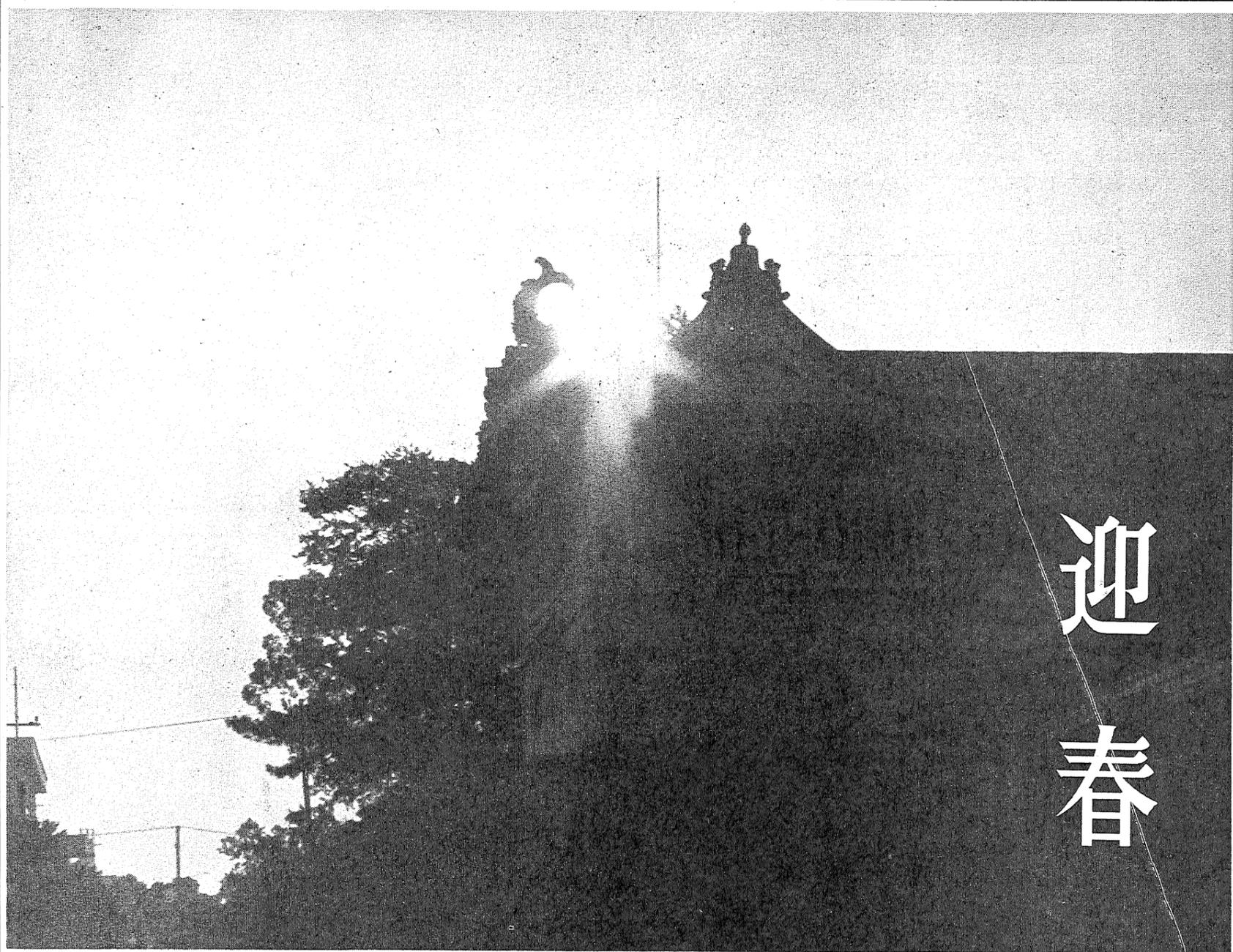
# さが市報

(第三種郵便物認可)  
昭和26年2月24日

発行所 佐賀市役所  
発行人 市長公室長  
(定価2円)  
電話代表④3151番

## 佐賀市の人口

12月1日現在	前月比
人口 150,623	+161
男 71,247	+118
女 79,376	+43
世帯 43,806	+98



# 迎春

明けましておめでとございます。  
昭和四十九年の輝かしい新春を迎えるに当たり、皆様のご健康を心からお祝い申し上げますとともに、市政に対するご理解と支援に対し深く感謝申し上げます。

わが国が、まにみる経済成長を遂げ景気浮揚を続けるなかで、産業構造の高度化と都市化の進展はまことにめざましいものがあります。

しかし、このよつな都市化の進展は大気汚染、水質汚濁など公害の激化、交通事故の増大、あるいは地価の高騰、さらに昨年末には石油危機と諸生活物資の不足、暴騰など国民の経済社会活動の各分野にわたり大きな問題を生じておりますので、昭和四十九年は、国の内外において多様な事態を迎え、厳しい試練の時であると思えます。

私は、年頭之際し、清らかな水と緑の木々に囲まれた豊かな福祉都市づくりのため、マスタープランの第二次実施計画に基づき、都市基盤



佐賀市長  
宮田 虎雄

の整備、生活環境の向上、産業の振興、教育文化の向上および社会福祉の増進を五本の柱として、強く市政を推進していく覚悟であります。当面の施策として、水害防止のための排水対策、環境浄化に必要な下水道の整備、佐賀駅高架移転と併行して高架下の利用や鍋島貨物ヤードの整備、土地区画整理事業の推進、ほか、親しみやすい市民の窓口としての庁舎建設、国立医大の誘致、国体開催の準備、無公害工場場の誘致、生活用品の不足、暴騰に対

処するための国への施策要望および情勢は握り行政指導の強化、その他重要な問題が山積しておりますが、本年も生きがいのある都市建設のために人間優先の市政を積極的に進め、皆様の生活環境をより豊かにするよう努力したいと思います。

皆様のご発展と多幸を心から祈念いたします。いよいよ、いよいよです。

## 年頭のおぼろげ

昭和四十九年の黎明を迎え市民の皆さんへ心から新年のお慶びを申し上げます。

昨年のわが国の経済状態は、世界経済の大きな変革により物資の供給調整が崩れ、異常な物価騰貴、物資不足となり、生産の基盤となる石油の大幅削減という、曾てみない恐慌状態を現出しました。資源のない日本の経済は実に浅いといわれ、一見華やかに見える表波は、空中楼阁と極言する人もあります。



佐賀市議会議長  
立石 仙二郎

残念なことは、多少のヤツカミもまじっていたでしょうが、世界の国々から、エコノミック・アニマルという非難を浴びたこととあります。敗戦というみじめな惨状を乗り越って今日を築いた日本国民であります。資源なき島国として勤勉と努力を唯一の基盤として祖国の栄光を築いてきた歴史があります。

わが佐賀市は、食糧基地としての風土のもと、農家の方々が営々汝々多収作に専念し全国有数の多収地帯としての誇りのもとに都市体形が整備されてきましたが、食糧事情の変化により、農業政策が転換されているもの

「表波は底流を奪えない」といわれております。新しい構想と、一億の人間が科学する心を養うことが私の初夢であります。

一億国民が生き抜くため、政治に、外交に新しい発想と角度を変えて、現実を打開し、市民として生活の知恵を全開していただきたいと思えます。

市民の皆さん方のご自愛を祈り、心身共に明朗なる生活を打ち立てていただくことを心からお願ひする次第であります。

# 1973市政

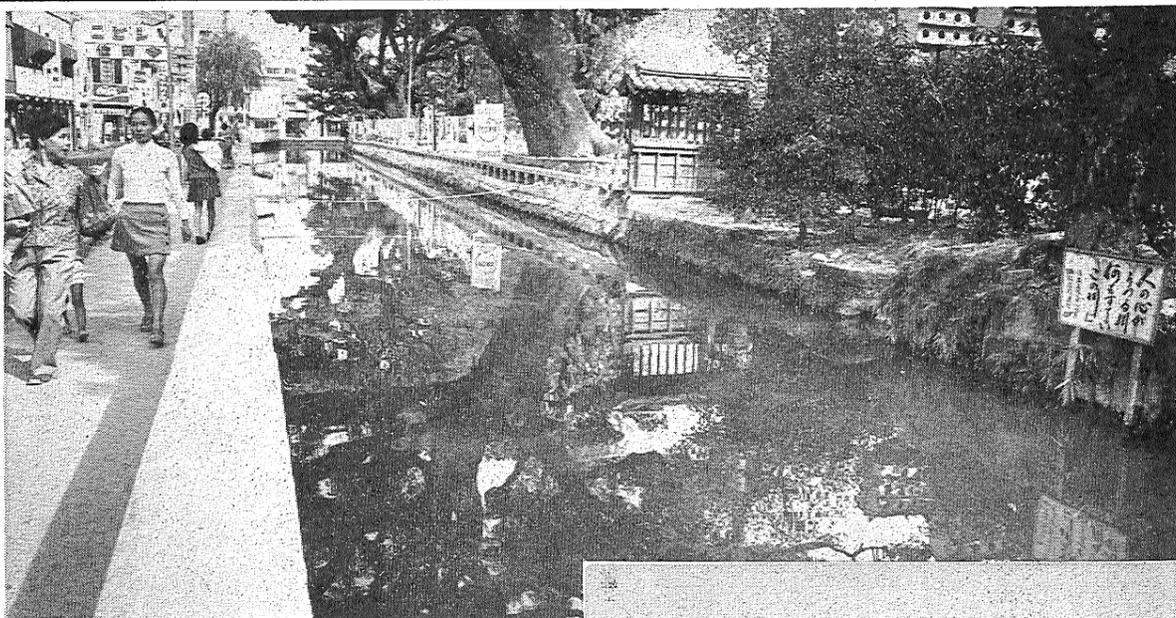
# 7月

# 7ブツシュ

## 佐賀市民150,000人



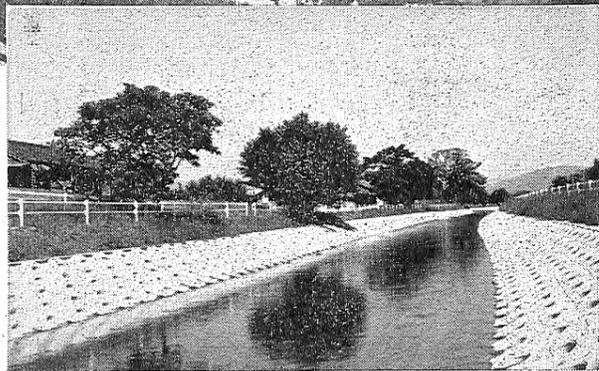
7月佐賀市の人口が15万人に到達。  
15万人目の人には、市長から記念品を贈り到達を祝いました。  
写真は15万人目の  
三浦 みち子さん



## よみがえる清流

### 市民の目を楽ませる「コイ」

市内を流れる河川のしゅんせつ改修工事が功を奏し、いまでは町中を流れる川が非常にきれいになりました。そのひとつ、松原川は、ゆうゆうと泳ぎまわる「コイ」の姿がながめられ、市民の心に安らぎを与えています。また多布施川の清流を市街地へ導く改修工事が進められ、河川敷を公園化し市民の憩いの場とする計画が着々と進められています。



## 豊かな老後

このほか、敬老年金の支給、老人医療費の助成、市営バス用老人優待バスの発行、老人趣味の作品展などを実施し、健全で豊かな老後をという施策を進めています。



佐賀市は、一世帯一住宅確保という市民のみなさんの要望にこたえるため、市営住宅の建設、宅地の分譲など継続的に努力を重ね、拡充をはかっています。居住環境の向上と社会開発の観点から、バランスのとれた住宅行政を推進しています。



## 51年若楠国体へスタート!!

若楠国体の主会場となる佐賀市は、いち早く国体実行委をスタートさせ、国体の開催準備や市民運動の展開にとりかかっています  
写真 国体実行委スタート



●市民運動をひろげよう  
○社会を明るくしよう。  
○たくましくきたえよう。  
○郷土を美しくしよう。



## 走ろう、歩こう健康づくり

若い人からおとしりの方まで、みんなが参加できる健康づくりのための、走ろう/歩こう運動やバイコロジー運動などがさかんにこなわれています。多布施川沿いの自転車専用道路でも、思い思いに散策し、銀輪を連ねて楽しんでもらっています。





### 49年秋完成めざす 新市庁舎

もと市ガス部跡地に建設中の新市庁舎は、順調に工事が進んでいます。

地上7階地下1階のモダンな建物で、緑の都市づくりをめざす佐賀市のシンボルとなりそう。  
(写真 新市庁舎の完成模型、7月29日に行なわれたワク入れ式)



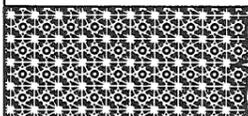
### 1年間の主な出来事

昭和48年1月～昭和48年12月

- 1月19日 市街化区域新用途地域素案まとまる。
- 22日 ダイヤル育児相談はじまる。
- 22日 新たに市重要文化財に内定、十六羅漢など。
- 2月22日 佐賀市農業振興地域整備計画まとまる。
- 3月8日 旧佐賀市史復刻版を発刊。
- 5月25日 地下水自主規制協会が初総会。
- 6月27日 佐賀市に217ミリの豪雨。
- 9月10日 医大用地が解決、鍋島町に。
- 11日 九州横断自動車道の経路発表。
- 16日 蓮池町小松浮立の継承披露。
- 10月1日 八丁井樋改築起工式、治水に期待。
- 11月29日 現市庁舎の売却決まり契約済み
- 12月20日 公営交通事業健全化法を適用、市営バスの再建へ。



# 1973



# 73

## 佐賀市



### 健全で豊かな老後

佐賀市では、楽しく安心な老後をすごしていただくため、老人スポーツ大会の開催やひとりぐらしの老人に愛の電話の設置を行なっています。

このほか、助成、市営バス趣味の作品展など後をという施策



### 充実した教育環境に

老朽化した教育施設の改築や人口の増加に伴う学校の新設を重点的に行なっています。

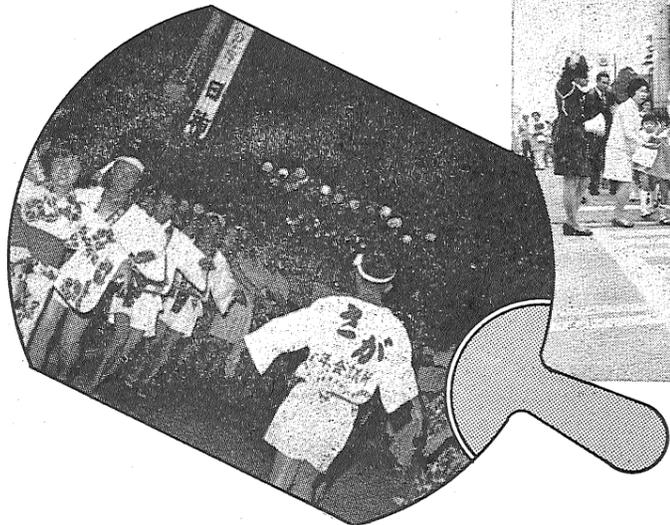
新栄小は、昨年誕生した市内17番目の小学校で、充実した教育環境に学童たちも大喜び。また、不幸にして火災で校舎を失い不自由なプレハブ校舎で授業をつづけていた城



南中も、新校舎が完成し喜色満面で勉強を楽しんでいます。今後もよりいっそう、教育環境、施設の充実をはかってゆきます。



### 市民納涼盆踊り大会



### 事故のない住みよいまちに

子どもたちを恐ろしい交通事故から守るための交通教室。交通ルールをよく守り、事故のない住みよい安全なまちづくりを続けたいものです。

### 快適な住宅の建設

佐賀市は、一世帯一住宅の要望にこたえるため、市営住宅など継続的に努力を重ね、拡充を居住環境の向上と社会開発のた住宅行政を推進しています。

